

平成29年度 大阪府立交野高等学校 第2回学校協議会 総括

日時 平成29年11月13日(月) 午後3時30分～午後5時00分

場所：本校 校長室

内容：

1.校長挨拶

2.学校経営計画について

3.平成29年度中期の状況について

- ・生活指導部 生徒生活状況(H28年度、H29年度遅刻統計)
体育祭・文化祭報告(生徒アンケート結果)
- ・進路指導部 1・2年生 第2回進路希望調査結果
- ・保健部 保健室の利用状況
- ・2年生 修学旅行

4.諸連絡

◆議事録総括

1. 校長挨拶

①学校協議会が、来年度より「学校運営協議会」に名称が変更、学校経営計画の承認をしていただく機関となる。

②教務部長の交代について

2. 学校経営計画

①「交野高校をどのような高校にしたいのか」

- ・進学実績の向上（難関私立大学への進学を増やす）
- ・キャリア教育（社会に出たときの適応能力を高める）
- ・クラブ活動の活性化（現状の加入率7割から、加入率8・9割への成長が目標）

②交野21委員会について

学校の企画部として、いくつかのチームがスタートしている。

- ・ビブリオバトル（3名の教師チームにて企画の上、来年導入予定）
- ・分掌の見直し
- ・カリキュラム委員会（キャリア教育の強化とポストセンター入試をにらみ3名の教師をチームとして今後拡大予定）
- ・クラブ活性化（2名の教師チームにてスタート）
- ・働き方改革（来年度）

③入試の定員割れ防止について（校長として学校の大きなリスクと考える）

生活指導、生徒指導を重視していく。

・交野高校は「校則が厳しい」のではなく、「他校と変わらない校則を徹底させて守らせて」いるという良い伝統を継承していく。

・10月、11月実施の学校説明会や、11月に常翔啓光学園で行われた保護者・生徒との懇談会などを大切にしていく。

3. 平成29年度 中期の状況について

○生活指導部

・例年と大きな変化はないが、今年の特徴としては、校門での遅刻が微増。危機感をもつべき。

・本校は病院や体調不良で事前に連絡があっても遅刻として扱っている。

○体育祭、文化祭報告

・体育祭への生徒満足度は全体的に好意的であり、学年縦割りの団わけをおこなっているため、学校全体で取り組むことができた。一方で、「クラスがまとまったか」という質問について、好意的な回答は70パーセントに留まり、学年種目の練習時間を増やす等の改善をおこない、クラスの団結を深めたい。

・文化祭に対して90パーセントの生徒が好意的である。傾向としては、学年があがるごとに文化祭への充実度は増している。1年生の充実度を上げるために、もう少しサポートができればと考えている。

○進路指導部

・3年生の進路については、第3回学校協議会で報告する。就職希望者（第1次）は全員が内定をいただいた。例年に比べると、早く進学先が決まっている。

・1年生の進路希望調査の結果は例年通り、4年生大学を希望している生徒が多い。

・2年生は夏休みにオープンキャンパスへ行く宿題を出す、分野別説明会をおこなう、といった取り組みの結果、進路希望未定者が減少した。しかし、学習時間が少ない点が気になるので、増えるような取り組み、働きかけをしていきたい。

○保健部

・保健室に来室している生徒は昨年と比較すると約200人減少している。おそらく、進路が早く決まり、安心して3年生の生徒が多いからではないかと考えている。

○2年修学旅行

・アンケートより、おおむね満足している生徒が95パーセントいた。修学旅行先を発表した時点では、沖縄がよかった（昨年、一昨年ともに沖縄）という声が生徒から多く聞かれたが、結果として北海道での修学旅行に非常に満足したようである。

・天気に恵まれ、予定通りに北海道の野菜を食べたり、自然を感じたり、選択体験をおこなったりすることができた。また、ホテルの部屋、食事ともによかった。

・最終日のタクシー研修は3～4人の班に分かれてタクシーに乗り、札幌市から新千歳空港まで、昼食も含め自由に行動した。事前に計画書を提出させ、タクシーの運転手との打ち合わせもおこなった。また、タクシー研修の練習として、4月の遠足で京都に行った際に、班で計画書を提出させ、班別散策をおこなわせていた。

4.質問等

・大阪全体でも少子化の流れを受けて、入試の定員割れのことを聞く機会が多い。定員割れの件について、大阪府立高校2校の来年度の募集停止が発表され、府立学校数減の計画におさまる数となったが、来年以降がどうなるのかわからない。今後は学校数減ではなく、クラス減になっていくのではないか。

・修学旅行に関しては同時期に沖縄へ行っていた他校が台風などの影響により旅行に支障があったのに対し、本校は北海道で天候にも恵まれていて良かった。

・第2学年の夏休みの課題で、「オープンキャンパス見学」が出たことで、大学について考える良いきっかけとなった。

・遅刻の統計を見ると、第3学年の遅刻が多いのはなぜか。

→第3学年になるとだれてくる傾向がある。どの学年も第1学年のときは真面目であるが、上級生の様子を見てひっぱられてルーズになっていくのではないか。

・文化祭の生徒会執行部は何年生が行っているのか。

→第1学年から第3学年まで、各学年で行っている。

・行事での欠席者はいるのかどうか。

→欠席者はゼロではないが、基本的には参加していた。

・以前は学校協議会の報告の際に映像もあったので、映像を用いての報告が望ましい。

・体育祭アンケートにおける、第3学年のクラス全員リレーの評判はどうなのか。

→競技を行う3年生にとっては、クラスの団結力が上がるから良いが、見ているほうはだれてくる可能性もある。

・第1学年のムカデ競争におけるケガはなかったか。

→昨年度協議会の指摘をふまえ改善を行ったので、今年度のムカデ競争の負傷者はゼロであった。

・就職内定者で、交野市内に就職が決まった者の有無。

→把握している限りでは、交野市内への就職者は少ない。

・交野市内の会社は年齢層が比較的高めのところが多いため、若者が交野市内へ就職してくれることを願っている。

→交野高校の生徒は「誰かの役に立てる仕事がしたい」と思う生徒が多く、看護師・介護士・消防士・警察官などを希望する生徒が多い。そのような中で、「将来何がしたいのか」をアドバイスし、社会に出たときの表現力などの適応能力も高めていきたい。また、インターンシップ等も考える方向でいきたい。是非、交野市内の企業で高校生の求人がある場合は本校進路担当者に連絡をしていただきたい。

・保健室への来室がかなり減っていることに関して、とてもよいと思った。入試や進路を決定することが、生徒たちにとって、大きなストレスであることがわかった。

→現在本校は養護教諭2名体制であるが、このまま2名体制を維持したい。

・修学旅行では、生徒は羽を伸ばし、楽しむことができたと思う。

・保健部の資料について、いじめの相談が0になっているが、本当だろうか。いじめに関する事件等が多く報道されているので、大丈夫だろうか。

→授業観察時や校舎を歩き回っている時に、そのような雰囲気を感じることはない。担任の先生が感じた変化などを信じて、家庭訪問を担当や学年主任に勧めたりするなどをすでに指示しているが、今後も継続するつもり。

・不登校生徒はどれほどいるのか、対応はしているのか。

→本校にも不登校の生徒は数名いると聞いているが原因はそれぞれにほぼ明確。担任の家庭訪問やスクールカウンセラーの紹介等をおこなっているが、何よりも保護者との連携が重要。

・進路希望調査の資料について、学習時間が0～30分の回答が非常に多いが、各教科等で宿題は出しているのか。

→英語、数学は多くの課題が出ている。英語は、予習、復習に加え、小テストの勉強も宿題として出している。

・1年生では国公立の大学を希望する生徒がいるが、2年生になると減っている。勉強をする習慣をしっかりと身につけさせることが大切では。

→入学後に目標を下げる生徒が多い。夏休み明けのスタディーサポートの結果は、今年の1年生（44期）は上がっていた。

・保健室の利用状況についての、内科の内訳の「倦怠感」とは具体的にどのようなものか、不登校につながるようなものではないのか。

→保健部の先生に聞いて次回（第3回学校協議会）で報告。

・経済的に厳しい家庭であることが原因で不登校になっている生徒はいるのか。そのような生徒に対して奨学金などの案内等しっかりできているのか。

→現状、そのような生徒はいないと認識している。奨学金の案内は全体にしている。

・生徒はアルバイトをしてもよいのか。部活とアルバイトで忙しく、勉強時間が確保できていないことはないのか。

→アルバイト許可願を提出すれば、アルバイトは可能である。本校は部活動が盛んであり、遅くまで練習をしているので、アルバイトとの両立はほぼできないと思うが、冬休み等に短期のアルバイトをおこなう部員はいるようである。

・進路について、受験用の塾に通う生徒は塾での課題が多く、学校の宿題に手がまわらないことがある。どれぐらいの生徒が塾に通っているのだろうか。また、スポーツ推薦やAO入試を受験する生徒はどれぐらいいるのか。

→3年生の入試については次回（第3回学校協議会）に報告。スポーツ推薦等はその年度によるが、ほぼいない。